

◆ 検証結果の利用にあたっての注意事項等について

1. 本資料の位置づけ

1. 1. 本資料は、東日本電信電話株式会社（以下、「NTT東日本」という。）及び西日本電信電話株式会社（以下、「NTT西日本」という。）が、PSTNからIP網への移行に伴い提供終了を予定している「INSネット デジタル通信モード」をご利用しているお客さまに対して、当面の対応策として提供することを検討している「メタル IP 電話上のデータ通信」サービス※1（以下、「補完策」といいます。）の検証環境※2において、ISDN対応端末の検証を実施されたお客さま（以下、「検証実施者」といいます。）の当該検証の一部について、その内容及び結果を公表するものです。
※1 IP網への移行後も、現在ご利用中のISDN対応端末を用いてデータ通信を可能とするためのサービスです。
※2 他事業者様網との接続は検証対象外です。
1. 2. 本資料は、「INSネット デジタル通信モード」をご利用しているお客さまが、補完策の利用を検討するための参考資料です。なお、本資料に記載の検証結果は、補完策の品質を評価した結果であり、検証に使用された通信機器、通信方式、システム、サービス等の性能を評価するものではありません。
1. 3. 本資料に記載の検証結果は、本資料に記載の機器構成における検証結果であり、本資料に記載の無い検証も含めた平均的な結果を示すものではありません。
1. 4. 検証の結果、通信が不可となる又はINSネット デジタル通信モードと比較して著しい処理時間の遅延が生じるケースもありますので、本資料を参照するのみならず、必要に応じて、NTT東日本又はNTT西日本に検証をお申込みいただくようお願い致します。

2. 本資料の取り扱いについての注意事項

2. 1. 本資料の著作権その他一切の権利は、NTT東日本及びNTT西日本に帰属するものとします。
2. 2. 本資料の全部又は一部を引用又は転載する場合、出典元として「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社」又は「NTT東日本／NTT西日本」と記載し、本頁の内容も併せて記載してください。
2. 3. 本資料に記載されている通信機器、通信方式、システム、サービス等の名称は、各社の商標又は登録商標です。
2. 4. 本資料の内容は予告なく変更することがあります。
2. 5. 本資料へのお問い合わせについては、NTT東日本又はNTT西日本にご連絡ください。

3. 本資料の全部又は一部を利用、引用又は転載（以下、「利用等」といいます。）する場合の禁止事項等

3. 1. 本資料の全部又は一部を利用等する場合、利用等する者（以下「利用者等」といいます。）は、以下の行為を行わないことに予め同意するものとします。
 - (1) NTT東日本、NTT西日本、本資料に記載の企業・団体又は第三者に不利益もしくは損害を与える行為、又は、そのおそれのある行為
 - (2) NTT東日本、NTT西日本及び本資料に記載の企業・団体の通信機器、通信方式、システム、サービス等を誹謗もしくは中傷する行為、又は、そのおそれのある行為
 - (3) NTT東日本、NTT西日本、本資料に記載の企業・団体又は第三者の権利を侵害する行為、又は、そのおそれのある行為

- (4) 第三者に対して、N T T 東日本、N T T 西日本又は本資料に記載の企業・団体と何らかの提携又は協力関係にあるものとの誤認を生じさせる行為、商品の購入、サービスの利用若しくは何らかの契約締結を推奨しているとの誤認を生じさせる行為、又は、それらのおそれのある行為
 - (5) 公序良俗又は法令に反する行為、又は、そのおそれのある行為
 - (6) その他 N T T 東日本又は N T T 西日本が不適切と判断する行為
3. 2. 利用者等が、前項に規定する行為を行っていると思われる場合、N T T 東日本及び N T T 西日本は、利用者等に対し、その利用等の中止を求めることができるものとし、利用者等は、利用等するに際して、これに応じることに予め同意するものとします。

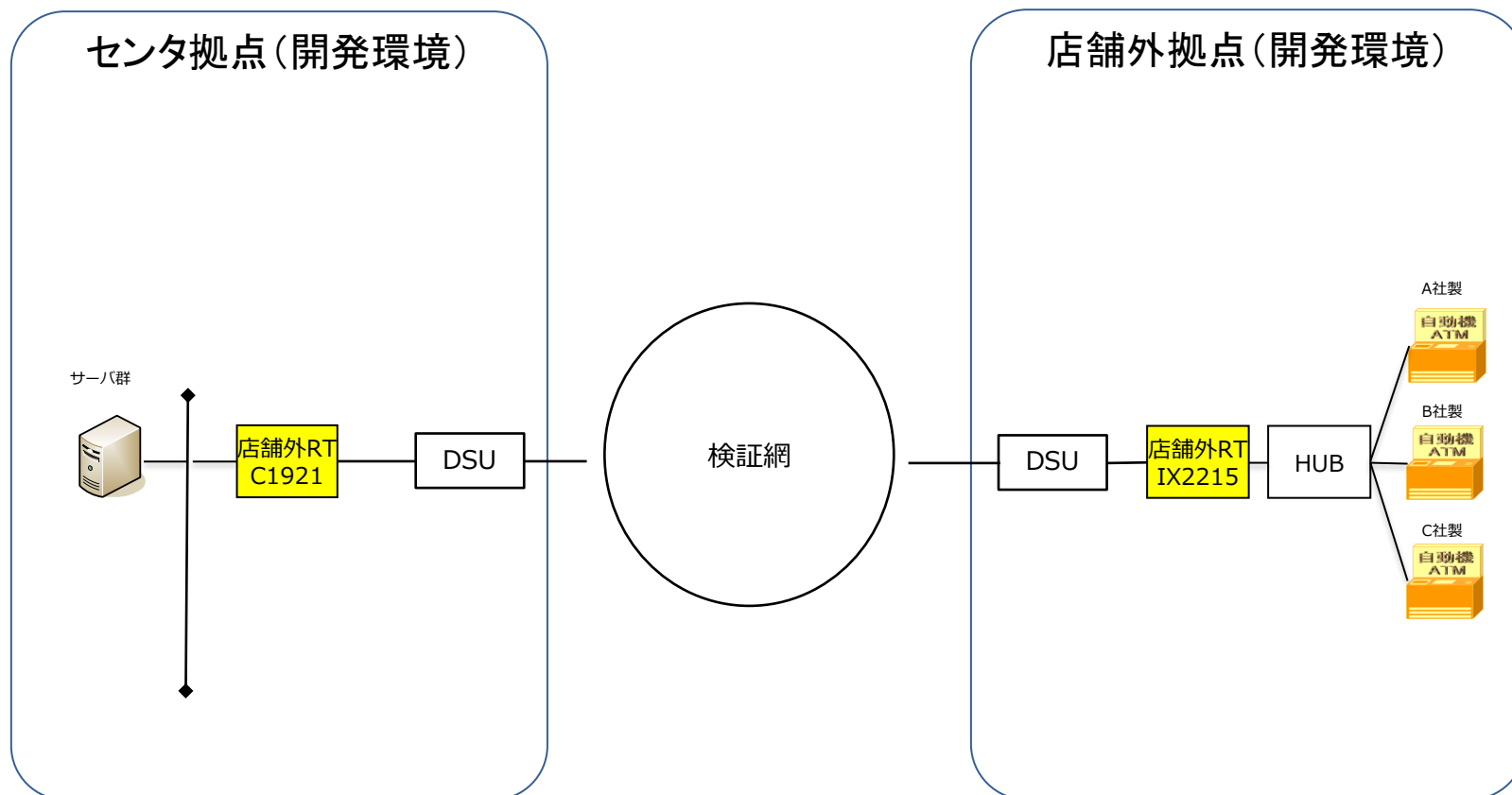
4. 免責事項

- 4. 1. 利用者等が本資料の全部又は一部を利用等する場合、それにより生じた損害又は紛争等について、N T T 東日本又は N T T 西日本は、一切の責任を負わないものとします。
- 4. 2. N T T 東日本及び N T T 西日本は、将来的に、商用で提供する予定の補完策の環境が本資料に記載の検証を実施した検証環境と同一であることを保証するものではありません。
- 4. 3. 本資料に記載の検証結果は、N T T 東日本及び N T T 西日本が、将来的に、商用で提供する予定の補完策上における通信機器、通信方式、システム、サービス等の動作を保証するものではありません。
- 4. 4. 本資料に記載の検証結果は、将来的に、N T T 東日本又は N T T 西日本が商用で提供する予定の「加入電話・I N S ネット(通話モード)」が、本資料に記載の通信機器、通信方式、システム、サービス等を使用する個人又は企業の活動に適合することを保証するものではありません。
- 4. 5. N T T 東日本及び N T T 西日本は、本資料に記載の情報の完全性、正確性、安全性、最新性等について、いかなる保証もいたしません。本資料について、これらを欠いた場合であっても、N T T 東日本及び N T T 西日本は一切の責任を負わないものとします。

掲載番号	03-23-0012	検証実施日	2022年10月31日
検証実施組織	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ		
製品名	①Cisco1921 ②IX2215		
製品製造元	①シスコシステムズ合同会社 ②日本電気株式会社		
製品概要	①②ISDNルータ		
検証対象	自動機（ATM）通信		
検証網接続方法	遠隔による接続		

①試験構成

 : 検証対象主要機器



2. 検証概要

目的：ルータ～ルータ間の通信が正常に行えることを確認する。

→2024.1以降は現行のINS接続設定を変更する必要が無いが、
今回は遠隔からの検証のため、PBX転送による接続先電話番号変更（幕張向け番号）
により正常に行えることを確認する。

- ①ルータ接続の確認
- ②ping時間確認
- ③発呼/着呼処理の確認
- ④データ長を変更しての通信確認 / 通信時間の確認
- ⑤優先制御試験※負荷試験にて実施

目的：自動機（ATM）通信が正常に行えることを確認する。

- ①各種ATMの各取引確認
- ②ATMへの資源配布確認
- ③監視業務確認

目的：連続稼働時においても正常に動作することを確認する

- ①12時間程度の連続稼働を行う。

目的：負荷試験

- ①現行のINS環境（64byte）の帯域が確保できることを確認する
- ②通信負荷状態においても自動機通信が優先されて取引（ルータ制御）されることを確認する。

3. 検証内容と結果

発着端末名※1		送信データ	試験 構成図	利用網※3	試験回数 ※4	試験後に記載※5		
発信機器(型番)	着信機器(型番)	種類※2				実測時間	実施日	判定
G4FAX(D-60)	G4FAX(H8200C)	画像データ	①	検証回線	5回	30秒 (5回平均)	2017/10/1	良
IX2215	Cisco1921	自動機取引	①	検証回線	3回	-	2022/11/02	良
IX2215	Cisco1921	自動機監視	①		3回	-	2022/11/02	良
Cisco1921	IX2215	テキストデータ	①		1回	1413秒	2022/11/02	良
Cisco1921	IX2215	資源配布1	①		1回	20分	2022/11/02	良
Cisco1921	IX2215	資源配布2	①		1回	7分	2022/10/31	良
Cisco1921	IX2215	資源配布3	①		1回	14分	2022/10/31	良
IX2215	Cisco1921	自動機取引	①	現行商用回線	3回	-	2022/10/27	良
IX2215	Cisco1921	自動機監視	①		3回	-	2022/10/27	良
Cisco1921	IX2215	テキストデータ	①		1回	1375秒	2022/10/27	良
Cisco1921	IX2215	資源配布1	①		1回	19分	2022/10/27	良
Cisco1921	IX2215	資源配布2	①		1回	7分	2022/10/27	良
Cisco1921	IX2215	資源配布3	①		-	-	-	